

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	海事輸送システム学	
科目基礎情報							
科目番号	0155			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	海事システム学専攻			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	後期:2		
教科書/教材	特に指定しない						
担当教員	窪田 祥朗						
到達目標							
国際物流を担う海上輸送の現状を把握し、国際物流の今後を予測することができる。 モノの移動に伴い移動する書類の流れ、手続き等を理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	コンテナ船の現状と予測を具体例を挙げて説明できる			コンテナ船の現状を説明できる		コンテナ船の現状を説明できない	
評価項目2	貨物海上保険の具体例を挙げ説明できる			貨物海上保険の例を挙げ説明できる		貨物海上保険について説明できない	
評価項目3	日本の貿易の現状について具体例を挙げて説明できる			日本の貿易の現状について説明できる		日本の貿易の現状について説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	【海事 平成28年 1年・2年 春 開講】 海技士としての知識を有する者が、海運や国際物流の知識や理解を深め、今後の物流について予測する。 国際的な貨物輸送について理解し説明できるようになることを目指す。						
授業の進め方・方法	講義やディスカッションを中心に進めていく。						
注意点	・ 時事の内容について質問するので、新聞、ニュース等で日ごろから情報を入手すること ・ 貨物がどのような手続きが行われ移動するかをイメージできるようになること						
授業計画							
後期		週	授業内容		週ごとの到達目標		
	3rdQ	1週	コンテナ及びコンテナ船輸送		コンテナ船輸送の概要を知る		
		2週	コンテナ船の現状		コンテナ船の歴史と今後を予測する		
		3週	貿易の流れ		貿易の流れを理解する		
		4週	信用状取引		信用状とは何かを説明できる		
		5週	貿易書類と手続		輸出入に必要な書類の種類を理解する		
		6週	貿易法務		インコタームズとは何かを説明できる		
		7週	運賃と外国為替		外国為替と運賃の関係を説明できる		
		8週	海上貨物保険 1		海上貨物保険の概要を説明できる		
	4thQ	9週	海上貨物保険 2		海上貨物保険の補填の範囲を理解する		
		10週	貿易保険		貿易保険の概要を説明できる		
		11週	貿易クレーム		貨物の点検とクレームの申し立てを説明できる		
		12週	通関知識		通関と保税地域について概要を説明できる		
		13週	日本の貿易の現状		日本の現状について説明できる		
		14週	貿易と環境		環境保全と貿易の関係を理解する		
		15週	定期試験				
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	出席状況・授業態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	10	20	0	100
基礎的能力	30	0	0	10	0	0	40
専門的能力	40	0	0	0	20	0	60
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0